

「風来のシレン外伝 女剣士アスカ見参！」

プレイ続報

とある国の山深き里に 川を流れる毒に苦しめられる人々がいた
そこを偶然通りかかった麗しき剣士アスカ
またひとり 旅の神クロンに導かれ 運命の神リーバに未来を託す
若き真剣の風来人が 果てしなき求道の旅に出る

カカルーの試練に挑戦し、斎戒の間で残りHPわずかのところ幸運な一撃が銀猫魔天ティナを倒した。これで七魔天を倒し、7つの試練を全てクリアした。エンディングでは星華の大筒から火花が長々と打ち上げられる。その後開かれたダンジョン星華の大筒の斎戒の間で黒雷仙女を倒し、再度36階をクリアして、天神楽ノ剣と星神輿ノ盾を手に入れた。

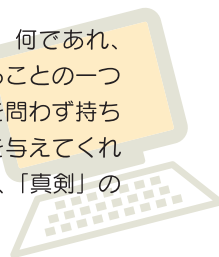
これらを装備して鋼賀の隠し穴の攻略にあらためて乗り出し、やっとのことで伝説の武器、黄泉水底ノ鎖と黄泉巫女神ノ盾を入手した。43階に店があり、仲良く一つずつともに売価6万円で並んでいた。ただし、苦勞の割には期待外れの感も否めない。

その後は、何とか入手した2個の風魔石を風魔の盾に合成し、8つのスロットを一定の印で埋めてラセン風魔の盾を作成し、鍛え上げた秘剣カブラステギとともに装着して冒険に出ている。この組み合わせこそが究極の武器ではなかろうか。

一番のお気に入りのダンジョンはギトーの試練で、サトリのつるはしで壁をこつこつ掘り進んでは、見つけた商店で手当たり次第にドロボーを実践している。詐欺的行為による貨幣増殖、つまり財テクのコツも会得し、今では風来銀行への預金は限度額の999万9999円に達した。

どうやら、市場経済のルールにがんじがらめに束縛された商人を突破りの手段で出し抜くことが、私の趣味らしい。人間失格とは思わないが、経済学者失格という自覚はある。

ともあれ、テレビゲームに限ったことではない。何であれ、一つのことに脇目もふらず打ち込むことは、生きることの一つの重要な活力源となる。その意味でも、老若男女を問わず持ち続けたい心的姿勢であろう。実際、大いなる感動を与えてくれたアテネ・オリンピックを貰っていた一条の光には、「真剣」の二文字が記されていたのではなかったか。



広島県の山間の地に生まれ、無邪気に少年時代を過ごす。青春期に都会の喧騒に毒され、普通の市民の無関心と市場経済の冷酷さに苛まれて、心身ともに傷だらけのいじけた中年に生長した。現在、本学経済学部助教授。経済原論B、経済システム論担当。経済学博士（東京大学）。ちなみに、趣味はテレビゲームではない。

岡田和彦

KAZUHIKO OKADA